

平成28年度北海道環境教育等行動計画の推進状況に関する点検結果

道では、環境保全意識を持ち、主体的に行動できる人づくりを進めるため、平成26年3月に「北海道環境教育等行動計画」を策定し、この計画に基づき、道民や民間団体等と協働して、本道の環境教育や環境保全活動等の一層の推進を図っていくこととしています。

また、計画の推進状況を把握するため、指標を設定するとともに、計画の推進施策や道の関連施策の実施状況、市町村や民間における取組事例等を取りまとめ、毎年度点検し、公表することとしています。

【取組状況と効果】

- 道においては、多様な主体と協働して、環境教育等の指導者育成や、自然環境の保全を担う人材育成に努めるなど、計画策定後二年目となる平成27年度は、環境教育等を推進するための人づくりに重点的に取り組みました。
具体的には、教員や自治体職員のほか、民間団体、事業者も対象とした環境教育の実践講座を平成26年度に引き続き実施したほか、関係各部等でも様々な施策を推進しました。
新たな取組として、環境保全への貢献を希望する企業の協力を得て、環境団体等との共催により、道内で自然環境保全に携わる様々な職種の方々を紹介する連続セミナーを開催し、将来を担う若年層を中心に、自然環境保全への意欲の増進に努めました。
- また、道内の学校や事業者、地域団体・市民活動団体及び行政等における環境教育や環境保全活動等の取組事例を広く収集した結果、全道各地で様々な取組が展開され、環境教育等の推進が図られていることが分かり、他の地域への波及が期待される、優れた取組もいくつか把握することができました。
- 北海道環境教育等推進協議会では、人材育成事業等に主催者として参画し、専門分野を活かしたコーディネートを行うなど、目指す方向についての意識の共有と相互理解を図りました。

【課題と今後の方向性】

- 引き続き、指導者の育成と活用、協働取組の推進、優れた取組の普及などにより、多くの道民の環境保全への関心を喚起し、一人ひとりの主体的な行動に結びつけていく事業を展開することが必要です。
- このため、情報の共有や相互発信、共催事業の実施などにより、協働取組の一層の推進を図るとともに、道内における環境教育等に関する取組状況の把握方法などの充実化と広く推奨事例についての周知に努めます。
- また、専門的知識・経験を有する指導者が学校や地域において積極的に活用されるよう、指導者の育成とともに、情報提供やネットワークの構築に努めます。

【道における推進施策・関連施策の推進状況】 別紙1のとおり

【指標の状況】 別紙2のとおり

【道内の取組事例】 北海道環境教育等行動計画に係る取組事例一覧 別紙3のとおり
環境教育等の推奨事例 別紙4のとおり